

より高い品質へ 技術講習会開く

東北建設マネジメント技術協会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は19日、仙台市青葉区のトークネットホール仙台(仙台市民会館)で2024年度「建設マネジメント技術講習会」を開いた。写真。東北地域づくり協会(渥美雅裕理事長)が共催し、発注者支援に関わる技術者の専門知識の習得と技術力向上を目的に開催。会場には会員



企業から約160人が参加した。録画配信で約580人が受講する予定だ。

冒頭、あいさつした秋葉代表理事は「発注者支援業

務を担うわれわれは、最近の建設業を取り巻く動きに注意を払い、技術力とマネジメント力の向上で、より高い品質の成果物を提供することが求められる。そのためにも意味ある講習会にしていきたい」と述べた。

講習会では東北地方整備局企画部の佐藤彰技術調整管理官が7月25日からの記録的な大雨で被害があった秋田、山形での対応や24年度予算など公共事業を取り巻く最近の話題について情報提供した。このほか整備局の総合評価方式や働き方改革施策、i-Constructionの主な取り組みについて動向も説明した。

公共事業動向学ぶ

東北マネ技協が講習会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は、仙台市のトークネットホール仙台で2024年度建設マネジメント技術講習会を開いた。写真。会場に約160人、ウェブで約580人の計約740人が参加し、公共事業や入札契約制度の動向、働き方改革の施策などを学んだ。東北地域づくり協会が共催した。

秋葉代表理事は「国土交通省が進める施策など、得るも



のが多い講習になる。発注者を支援する立場のわれわれとしては建設産業を取り巻く最新の動きを注視し、技術力の向上に努めて高品質な成果を提供しなければならない」と語った。

講習会は、東北地方整備局企画部の担当者が講師を務めた。佐藤彰技術調整管理官が「公共工事を取り巻く最近の話題について」、石村靖技術管理課長補佐は「総合評価落札方式について」、長谷川聡同課建設専門官は「働き方改革施策の取り組みなど」、佐々木良浩建設情報・施工高度化技術調整官は「i-Constructionの主な取り組み・最近の動向について」と題してそれぞれ講演した。

この中で佐藤技術調整管理官は、秋田県と山形県で甚大な被害が発生した7月25日からの大雨による出水の概要や官民連携による建設業の担い手確保推進の取り組み「東北未来働き方・人づくり改革プロジェクト」、工事事故防止対策などを解説した。

東北建設マネジメント技術協

働き方改革など学ぶ

技術講習会に約750人

東北建設マネジメント技術協会（秋葉敬治代表理事）は19日、仙台市のトークネットホール仙台で建設マネジメント技術講習会を開催した。講習会は発注者支援に携わる技術者を対象に専門知識の習得と技術力向上を目的に毎年実施している。会場160人に配信を合わせ約750人が参加し、東北地方整備局の入札制度や働き方改革の動向などを学んだ。

秋葉代表理事は「発注者



を支援する立場のわれわれとしては技術力とマネジメント力の向上に取り組み、品質の良い成果の提出・提供を行うことが重要だ」とあいさつした。

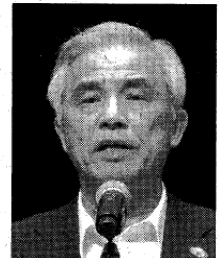
講演では東北地方整備局企画部から佐藤彰技術調整

管理官ら4人が講師となり▽公共事業を取り巻く最近の話題▽総合評価落札方式▽働き方改革施策の取組▽i-Constructionの主な取組・最近の動向などを講義した。

佐藤技術調整管理官は東北未来「働き方・人づくり改革プロジェクト」などについて解説。少子高齢化が進む東北地方で「災害時の迅速な対応とインフラ維持管理や除排雪など地域の守り手である建設業の担い手確保対策を東北全体に広げることが必要だ」と力を込めた。

東北建マネ協会ら

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は19日、仙台市内で2024年度の建設マネジメント技術講習会を開催した。会場とウェブを合わせて約740人が参加し、東北地方整備局の職員4人から総合評価落札方式や働き方改革、iコンストラク



秋葉代表理事

度から開催していることを紹介。20年度は台風、21年度は新型コロナウイルスの影響で開催できなかったものの、22年度から対面方式とウェブ配信方式で開催していることを告げた。今回の講習会に関しては「国土交通省が進めている最新の話題や施策について多く整備局企画部の佐藤彰技術調査管理官が「公共事業を取り巻く最近の話題」、石村靖技術管理課課長補佐が「東北地方整備局の総合評価落札方式」、長谷川聡技術管理課建設専門官が「働き方改革施策の取り組み等」、佐々木良浩建設情報・施工高度化技術調査管理官が「iコンストラクションの主な取り組み・最近の動向」について、それぞれ紹介した。

なお、会場で講習会に参加した受講者にはCPDSの3ユニットが付与された。

国交省の最新施策字ぶ

シヨンなど、最新の施策に関する講義を受け、発注者支援業務を担う者としての知識を深めた。

の内容が盛り込まれている。得るところの多い研修になるものと期待する」と述べた。最後に秋葉代表理事は「発注者を支援する立場にあるわれわれとしては、建設環境を取り巻く最近の動きに注意を払い、求められる技術力とマネジメント技術力の向上に取り組む、品質の良い成果物を提供することが重要になる」と呼び掛けた。

技術講習会は東北地域づくり協会との共催で開催。両協会の会員から会場に約160人、ウェブで約580人が参加した。

あいさつで秋葉代表理事は技術講習会について、関係技術者の専門知識の習得と技術力の向上を目的に2019年

技術講習会に740人参加



技術講習会で東北地方整備局の取り組みについて知識を深めた